

ネイティブペディオコッカス属 **L- α -グリセロホスフェートオキシダーゼ**

Cat. No. DIA-199

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 酵素学において、グリセロール-3-リン酸オキシダーゼ (EC 1.1.3.21) は、次の化学反応を触媒する酵素です: $\text{sn-グリセロール 3-リン酸} + \text{O}_2 \rightleftharpoons \text{グリセオンリン酸} + \text{H}_2\text{O}_2$ 。したがって、この酵素の二つの基質はsn-グリセロール 3-リン酸とO₂であり、二つの生成物はグリセオンリン酸とH₂O₂です。この酵素は酸化還元酵素のファミリーに属し、特に酸素を受容体とするドナーのCH-OH基に作用するものです。この酵素はグリセロホスファリピッドの代謝に関与しています。1つの補因子、FADを使用します。

用途 この酵素は、臨床分析においてリポ蛋白質リパーゼおよびグリセロキナーゼと結合することで、トリグリセリドの酵素的測定に役立ちます。

別名 L- α -グリセロホスフェートオキシダーゼ; sn-グリセロール-3-リン酸: 酸素 2-オキシドレダクターゼ; グリセロールリン酸オキシダーゼ; グリセロール-1-リン酸オキシダーゼ; グリセロールリン酸オキシダーゼ; L-アルファ-グリセロホスフェートオキシダーゼ; アルファ-グリセロホスフェートオキシダーゼ; L-アルファ-グリセロール-3-リン酸オキシダーゼ; EC 1.1.3.21

製品情報

由来	ペディオコッカス属
外形	黄褐色の非晶質粉末、凍結乾燥された
EC番号	EC 1.1.3.21
CAS登録番号	9046-28-0
分子量	approx. 76 kDa (by gel filtration)
活性	グレードIII 40 U/mg-固体以上 (安定剤約40%を含む)
混入物	乳酸オキシダーゼ < $1.0 \times 10^{-3}\%$
等電点	4.1 \pm 0.1
pH安定性	pH 6.5-8.5 (25°C, 20時間)
最適pH	8.0-8.5
熱安定性	40°C未反応 (pH 7.0、15分)
最適温度	35-40°C
ミカエリス定数	$3.2 \times 10^{-3}\text{M}$ (L- α -グリセロリン酸), $6.8 \times 10^{-3}\text{M}$ (D, L-型)
特異性	その酵素は α -グリセロリン酸のL型に反応して最も高い特異性を持っています。
阻害剤	イオン性洗剤 (SDS、LBSなど)、Hg ⁺⁺ 、Ag ⁺
安定化剤	スクロース、FAD

保管・発送情報

安定性 -20°C で少なくとも1年間安定 (6ヶ月以内に 5°C で約10%の活性低下が発生する可能性があります)

